



前期・後期

堺高校の授業

リポート vol.27



堺高校は2008年、堺市立の4校(堺市立商業高等学校・堺市立第二商業高等学校・堺市立工業高等学校・堺市立第二工業高等学校)を統合し開校

本校では、体育の授業を通じて生徒たちが多様な運動経験を積むことができるよう、さまざまな種目に取り組んでいます。3年間を通して、50m走や走り幅跳びなどの陸上競技、ソフトボール、テニス、バスケットボール、バレー、サッカー、バドミントンなどの球技種目、そして水泳種目を行っています。特に球技種目は生徒たちに人気があり、テニスなどのネット型、ソフトボールなどのベースボール型、バスケットボールなどのゴール型の3つをバランスよく実施しています。

1年生は週3回、2・3年生は週2回の体育の授業が行われています。授業は20~30人の班に分かれて活動し、各班には2名のリーダーが選ばれます。リーダーを中心に関員が協力し、主体的に授業に取り組むことで、チームワークやリーダーシップの育成も図られています。

授業では、単に体を動かすだけでなく、心と体を一体としてとらえることを重視しています。運動を通じて自分自身と向き合ったり、達成感を味わうことで、精神的な成長も促進されます。また、仲間と協力して目標を達成することで、社会性やコミュニケーション能力も養われます。

保健体育科



第2グラウンド

運動の
たのしさや
喜びを味わう生涯にわたって
運動を豊かに
実践する

運動の楽しさや喜びを味わうことを目的としています。多様な種目を通じて、生徒たちは自分に合った運動を見つけることができ、楽しみながら体力を向上させることができます。特に球技種目では、競技の中での戦略やチームプレーの楽しさを体験することができます。

生涯にわたって運動を豊かに実践するための基礎を築くことをめざしています。運動習慣を身につけることで、健康維持やストレス解消に役立ち、豊かな人生を送るための重要な要素となります。また、さまざまな運動経験を通じて、自己管理能力や目標設定のスキルも養われます。

ネット型球技「テニス」



第2グラウンド

体育館

ネット型球技「ソフトバレー」

「体育」のカリキュラムは、生徒たちが心と体を一体としてとらえ、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるよう設計されています。多様な種目と充実した施設を活用し、生徒たちは主体的に授業を取り組み、運動を通じて多くのことを学んでいます。これからも、本校の体育の授業が生徒たちの健全な成長に寄与することを期待しています。



運動施設

本校の運動施設は非常に充実しており、2つのグラウンド、体育館、剣道場、柔道場、プール、トレーニング室などが完備されています。これにより、生徒たちは多様な環境で運動を楽しむことができ、各種目に適した施設で安全に運動を行うことができます。

トレーニング室

gym



持ち手の角度を
変えることで上腕二頭筋
の短頭と長頭を
それぞれ鍛えること
ができます。



パワーラックスタンド
安全バーがついておりバーベル落下の際の
危険を防止します。また、壁に備えた鏡で
姿勢を確認しながらトレーニングできます。



機械材料創造科で使用する旋盤機械を使用し、鉄アレイやダンベルのパーツを手づくり。本校ならではの制作物で、保健体育科にとっても機械材料創造科にとっても、大切な道具を自らの手で完成させる、そして活用するというサイクルがここにも生まれています。この他、器具のメンテナンスとして、溶接技術も活躍しています。



本校の旋盤機械で
規格通り制作した
『ダンベル』